

第六次 土岐市総合計画

2016～2025

概要版



土岐市

人と自然と 土が織りなす 交流文化都市

まちの将来像

本市においては、本市の強みである美濃焼や豊かな自然環境、利便性の高い広域交通網、そして、本市に集う人々と
いった地域にある多様な資源を活用し、市民一人ひとりの
心の豊かさや暮らしのゆとりを叶えることができるよう、ま
ちの将来像を「人と自然と土が織りなす 交流文化都市」
と定めます。

「人」は、土岐市に関わるすべての人を意味しています。
「自然」は、市内外に誇る豊かな自然環境を意味していま
す。「土」は、1300年以上の伝統を持つ美濃焼と美濃焼に関
する歴史や産業を意味しています。

糸を織り上げて美しい織物を作るように、これら「人」、
「自然」、「土」の3つの魅力を掛け合わせ、美濃焼をはじめ
とする土岐市に受け継がれてきた文化や歴史を誇りに感じ、
市内外の人が交流し、みんなで協力し、助け合い、幸せを実
感できるまちを築き上げていくことを目指します。

人口

客観指標

計画の指標として

人口

客観指標

と

まちづくり指標

主観指標

を設定します。

想定人口 56,600人

少子化対策による出生率の向上や定住・移住対策による社会
移動の改善といった対策を重点的に実施することで、平成37
年度(2025年度)の人口を56,600人と想定します。



基本指標

まちづくり指標

主観指標

1

住みよさ指標

土岐市は暮らしやすいまちと感じる市民 …… 61.8% ⇒ **70.0%**

2

定住指標

今後も土岐市に住み続けたいと考える市民 …… 50.6% ⇒ **60.0%**

3

市政満足度指標

土岐市の現状について満足と感じている市民 …… 27.3% ⇒ **50.0%**

※この数値は平成26年度に実施した市民意識調査の結果をもとに指標を設定し、計画期間内における目標を示しています。

総合計画とは

総合計画とは、土岐市の将来のまちの姿を私たち市民と行政、市議会が共有し、それを実現させるための道筋を示すものです。

身近な分野で、今後、どのような方向で事業を実施していくのかを示し、「協働」を基本に、土岐市に関わるすべての人々が、共に理解し協力してまちづくりをしていくための計画です。



本計画は、「基本構想」と「実施計画」の2階層で構成されます。

基本構想は、20、30年後の本市の姿を見据えつつ、平成37年度（2025年度）を目標年度とする10年間の計画期間とします。

実施計画は、具体的に実施する事業を示し、毎年度、ローリング方式による見直しを実施します。なお、毎年度公表することとし、別で作成する実施計画書で示します。

- 10年間で私たちが目指すまちの将来像を定めます。
- 将来像の実現に向けて実施していく施策について、大きな方向性を示します。

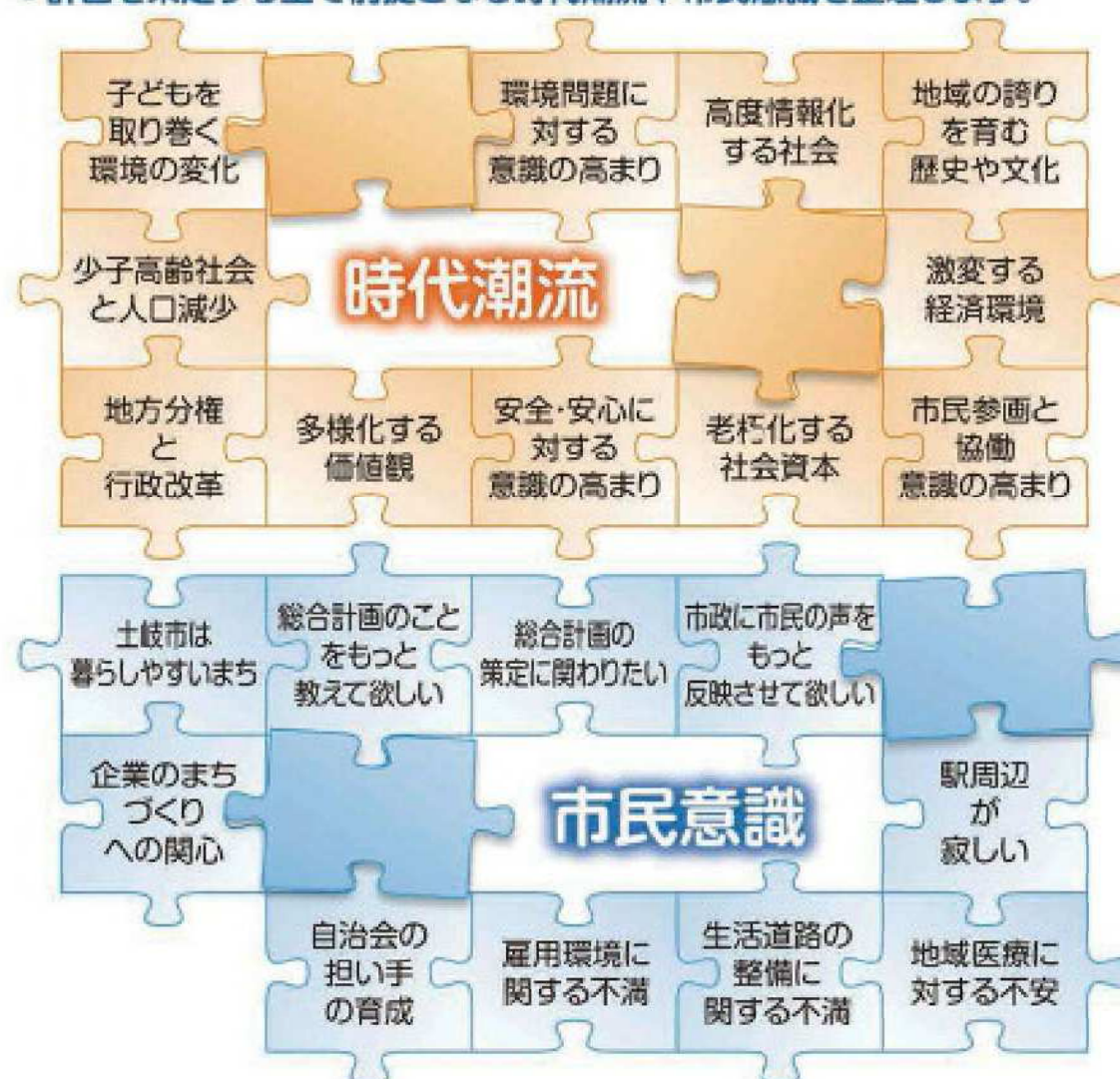
- 実際に行っていく具体的な事業を示します。
- 計画期間は3年間。毎年見直します。
- 基本構想との間にずれが生じないよう事業を計画して実施します。

基本構想

実施計画

計画の構成と期間

●計画を策定する上で前提となる時代潮流や市民意識を整理します。



計画策定の背景



●時代潮流や市民意識を踏まえ、土岐市のまちづくりを進めていく上での課題を整理します。

人口減少の抑制と快適に住み続けられる居住環境形成

- 転出者の抑制、出生率の増加、U/Iターン等による人口減少の抑制
- 地域医療体制の充実、自治会活動を中心とした地域での支え合い

まちの活力再生と更なるにぎわいの展開

- 商店街のにぎわいの復活と産業の振興による雇用環境の充実
- 観光施設への来訪者を市内へと誘う仕組みの構築

安全・安心な地域づくり

- 身近な生活道路の整備や安全な地域づくり
- 自治会など地域と連携した安心・安全な地域社会の構築

次世代を育む地域づくり

- 地域医療体制の充実と安心して出産できる体制の整備
- 保育園から高校まで連携した子育て・教育環境の充実

持続可能なまちづくりを支える行財政運営

- 選択と集中により効率的な施策・事業を推進
- 協働や地域自治を基本に据えたまちづくり

まちづくりの課題



●まちの将来像の実現に向けて、各分野で取り組むまちづくりの基本的な方向性を示します。

基本目標

1

支え合い安心できる暮らしづくり

地域医療の充実を図るとともに、健康の増進や子育て支援、高齢者・障がい者等の福祉を推進し、健やかな心と身体を育み、地域住民がともに支え合いながら安心して暮らせる優しいまちづくりを進めます。

健康 福祉

- ①健康の増進
- ②地域医療の充実
- ③地域福祉の推進
- ④子育て支援の充実
- ⑤高齢者福祉の推進
- ⑥障がい者福祉の推進
- ⑦生活支援の充実



基本目標

2

環境と調和したにぎわいづくり

地場産業である陶磁器産業の活性化を図るとともに、農・商・工業、観光などの産業振興を推進し、水と緑の自然を守りながら環境と調和したにぎわいのある元気なまちづくりを進めます。

経済 環境

- ①陶磁器産業の振興
- ②新産業の創出
- ③商業の振興
- ④観光の振興
- ⑤農林業の振興
- ⑥雇用環境の充実
- ⑦環境保全の推進
- ⑧廃棄物処理・リサイクルの推進
- ⑨公共交通の充実



基本目標

3

豊かな心と文化を育む人づくり

確かな学力を育む学校教育の充実を図るとともに、誰もが気軽に学ぶことのできる機会、スポーツや芸術を楽しむ機会、地域の歴史や伝統文化を理解し親しむ機会を創出し、毎日の生活を豊かにするまちづくりを進めます。

教育 文化

- ①社会教育の充実
- ②学校教育の充実
- ③生涯学習の充実
- ④スポーツの振興
- ⑤文化・芸術の振興



基本目標

4

安全で快適な暮らしを支える基盤づくり

道路や公園、上下水道などの都市機能を充実させ、誰もが安全で快適に暮らせるまちづくりを進めます。また、消防・救急体制の充実や交通安全の推進を図り、災害に強い安全なまちづくりを進めます。

安全 基盤

- ①消防・救急の充実
- ②防災・減災対策の推進
- ③駅周辺の整備
- ④道路・河川の整備
- ⑤上下水道の整備
- ⑥住環境・街並みの整備
- ⑦公園・緑地の整備
- ⑧交通安全の推進



基本目標

5

協働の仕組みづくり

市民の積極的な市政への参画や市民と行政の情報共有により、相互の信頼関係を深め、共に考え、共に行動する協働のまちづくりを進めます。また、行政改革や公共施設の適正な維持管理等を推進することにより、健全な行財政運営を推進します。

協働 行政

- ①協働まちづくりの推進
- ②情報共有の推進
- ③男女共同参画の推進
- ④適正な行政経営の推進
- ⑤国際交流・国際化の推進
- ⑥防犯の強化



基本目標

施策

基本構想の推進に向けて

基本構想を推進していく上で留意すべき基本的な考え方を示します。

1

協働と自主自立によるまちづくり

協働と自主自立によるまちづくりを進めるため、市民と事業者、行政がお互いを良きパートナーとして、それぞれの特徴や役割を理解し、対等の関係でまちづくりに取り組みます。

2

健全で持続可能な市政運営

継続的に成長していくため、ヒト・モノ・カネ・情報という資源を効率的・効果的に使用し、持続的に発展させていく基本的な考え方を取り入れます。

3

PDCAサイクルによる進行管理

施策・事業についてPDCAサイクルで進行管理し、「目標指標」を設定した進捗管理と市民や有識者などの参画も含めて複合的な視点を取り入れた評価を行います。



4

選択と集中による効率的な施策・事業推進

選択と集中の考え方に基づき、中長期的な視点からみた市の重要政策分野について重点的な対応を図り、効率的に施策・事業を推進します。